

—環境経営方針—

株式会社 コスモ・サイエンスは、真空装置を主とした
製品・サービスの提供を通して社会に貢献するとともに
地球環境保全に配慮し
全社を挙げて継続的に環境負荷の低減に取り組みます

1. 当社の事業活動に関わる環境影響を把握し、CO2 排出量、廃棄物を主とした環境負荷の低減に努めます。
2. 環境関連の法規制、条例及びその他の要求事項を遵守します。
3. 環境経営方針を全従業員に周知・徹底します。
4. 環境経営レポートを作成し、公表します。

2025年1月10日改定

株式会社 コスモ・サイエンス

代表取締役 武藤 泰和





— 環境経営目標 —

2025年1月10日

| 取組項目 | 基準年 | 年次目標 | | |
|---|--|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| | 【2010～11年度】 2010年7月 ～ 2011年6月 | 【2025年度】 2025年1月 ～ 2025年12月 | 【2026年度】 2026年1月 ～ 2026年12月 | 【2027年度】 2027年1月 ～ 2027年12月 |
| (1) 二酸化炭素排出量の削減 | | | | |
| 1) 電力使用量の削減 | 基準年度実績 464,113 kWh | 基準年度比 15 %削減 売上高比 | 基準年度比 16 %削減 売上高比 | 基準年度比 17 %削減 売上高比 |
| 2) ガソリン使用量の削減 | 基準年度実績 7,742 ㍓ | 基準年度比 15 %削減 売上高比 | 基準年度比 16 %削減 売上高比 | 基準年度比 17 %削減 売上高比 |
| 3) 軽油使用量の削減 | 基準年度実績 1,231 ㍓ | 基準年度比 15 %削減 売上高比 | 基準年度比 16 %削減 売上高比 | 基準年度比 17 %削減 売上高比 |
| (2) 廃棄物排出量の適切な管理及び抑制・削減 | | | | |
| 1) 一般廃棄物 | 2013年基準値設定 2400 kg | 基準年度比 12 %削減 売上高比 | 基準年度比 13 %削減 売上高比 | 基準年度比 14 %削減 売上高比 |
| 2) 産業廃棄物 | 2020年基準値見直 22,118 kg/年 | 基準年度比 7 %削減 売上高比 | 基準年度比 8 %削減 売上高比 | 基準年度比 9 %削減 売上高比 |
| (3) コピー用紙使用量の適切な管理及び抑制・削減 | | | | |
| コピー用紙購入量の削減 | 2014年基準値見直 240,000 枚 (A4換算) | 基準年度比 11 %削減 売上高比 | 基準年度比 12 %削減 売上高比 | 基準年度比 13 %削減 売上高比 |
| (4) 水道使用量の適切な管理及び抑制・削減 | | | | |
| 水道使用量の抑制・削減 | 2013年基準値設定 600 m ³ | 基準年度比 12 %削減 売上高比 | 基準年度比 13 %削減 売上高比 | 基準年度比 14 %削減 売上高比 |
| (5) 有害化学物質の使用 「特化則に該当する有機溶剤の使用0」 | | | | |
| (6) 製品・サービス（環境負荷の少ない梱包推進、使用量の削減） | | | | |
| 梱包材使用量の削減 | 2013年基準値設定 720 kg | 基準年度比 12 %削減 売上高比 | 基準年度比 13 %削減 売上高比 | 基準年度比 14 %削減 売上高比 |



— 環境経営計画 —

(1) 二酸化炭素排出量の削減

1) 購入電力の抑制

- ・ヒートマネジメント機器（2器）の活用により節電に努める。
- ・空調の適温化（冷房 28℃、暖房 20℃を目処に）に努める。
- ・空調を必要な区域、時間に応じて調整する。
- ・照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理を進める。

2) 自動車燃料の使用量の節約及び燃費の改善（エコドライブの推進）

- ・ふんわりアクセル
- ・加減速の少ない運転
- ・早めのアクセルオフ

(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び削減

1) 廃棄物分別の徹底と計量の実施

- ・一般廃棄物の適切な管理。
- ・産業廃棄物の適切な管理。

2) コピー用紙購入量の削減

- ・裏紙を積極的に利用する。
- ・両面コピーを活用する。
- ・電子化を推進する。

(3) 水道使用量の把握

- ・使用量を把握し、異常値などの早期確認と節水の推進をする。

(4) 化学物質の適切な管理及び使用量の抑制

- ・化学物質の適切な管理を実行する。
- ・有害化学物質使用量の抑制を行う。

(5) 環境負荷の少ない梱包の実施

- ・発注量をモトリングして、使用量の抑制を推進する。